

事務局：(財) 奈良県緑化推進協会内

〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6

TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110

メールアドレス：gvnc@nifty.com

ホームページ：<http://homepage2.nifty.com/gvnc>

● 主な活動の記録 (4月～6月)

4月3日(土) 「緑の募金」 街頭活動

(財) 奈良県緑化推進協会による「緑の募金」街頭活動、例年近鉄奈良駅前で行われていたが、この日は奈良国立博物館の“大遣唐使展”の開催に合わせ、駅から同館への道筋である、県庁前奈良公園側で実施され、当クラブ員 10 数名が参加。のぼりの設置、募金箱、緑の羽根、配布用花の種等の準備が整った頃、前日選ばれたばかりで初仕事となるミス奈良 3 名が到着。その後奈良ガールスカートからブラウニー 20 名近くと、せんたくんが順次応援に駆けつけ、最後に荒井県知事が到着されて、募金の呼び掛けは最高潮となった。休日かつ桜の最盛期にてかなりの人の往来があり、そこそこの成果。同時に県側は、来年当県で開催される第 35 回全国育樹祭の PR を兼ねたパンフや風船を配布された。

準備中



募金活動風景



知事始め勢揃い



せんたくんも



4月10日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

新入会 1 名を含め 30 数名が参加。午前中は F V 連の特定事業雑木林の除伐のほか、炭焼き窯の修復と草木染めの三手に分かれての活動。除伐は人工林に隣接する雑木林で常緑樹の灌木は原則全て除伐し、大きいものはもやかきを行い、太目の材は炭焼き用として玉切りし運び出した。炭焼き窯は長年使ってきて傷みが目立ってきているため山土や砂にセメントを混ぜ、まず周辺部分に塗付けての補修。草木染めはビワの葉を使った。染めが進むに従い、黄色からピンクにそして最後には赤みがかかった薄茶へと色の変化を楽しんだ。昼は花吹雪が舞う桜の下で花見をしながらの弁当。午後は引続き炭窯修復。それ以外は山菜採り、タケノコ掘りをしたが成果は今一つ。桜の森ではテングス病にかかったものや枯れた枝が目立っており、これらをを棹ノコで切除をした。



雑木の除伐



花吹雪の下で



炭窯の修復

4月24日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

30 数名が参加。午前中、一部は炭焼き窯の修復作業、大半は F V 連の特定事業の一環としてモミジ谷近く

のヒノキ林で間伐作業を実施。間伐材を利・活用するため、伐倒木は葉枯らしするため、山側に倒し、樹冠の一部を残し枝払い、皮むきを行った。雨の後で水揚げがよく、皮に切れ目を入れて勢いよく引張ると気持ちよく剥け、瑞々しい木肌が現れた。午後は炭窯の修復は引続き、他は二ヶ所の竹やぶに分かれて入り、タケノコ掘り。かなり大きなのを含めそこそこの収穫。皆で分けて持帰った。

4月29日（木） 「緑の募金」街頭活動

榎原アルルでイオングループが開催の第6回目となる育樹祭に合わせ、アジサイの苗木の無料配布（500本）と緑の募金活動。当クラブからは10数名が参加。育樹祭では一般参加者800名以上が、同店周辺に植えられた木々の手入れ、草取りを行った。これが終わると、10時の苗木配布開始の前から長い列が出来ていた。配布と同時に、花の種や子どもたちには風船を手渡ししながら、募金の呼び掛けを行った。同時に本年秋に馬見丘陵公園で開催の第27回全国都市緑化ならフェアと、来年秋平城宮跡で開催の第35回全国育樹祭のPR活動も行われた。



苗木の準備



育樹作業



苗木の配布



募金風景

5月6日（木） 高取山共生の森整備・保全事業 「緑の募金」中央事業

次週土曜日（15日）に「ENEOSの森」での活動に備え、ENEOS社員が小型バスで県道入口から現場まで乗入れるためこれの安全運行確保のため、昨秋の大雨でかなり傷んだ林道の整備作業を行った。約1.5キロに亘り、大きく割りこんだ掘割、山側法面の崩れ、落石の除去、沿道に茂った草の刈り取り等手分けし実施。作業完了後は、危険箇所の見落としがないか再度チェックしながら帰路についた。



崩れた土砂の除去



掘割埋め戻し



排水路確保

5月15日（土） 高取山共生の森整備・保全事業 「緑の募金」中央事業

高取山国有林内「ENEOSの森」で新日本石油（株）の社員28名（内4名の新入社員を含む）が参加しての活動に際し、当クラブ員5名が指導にあたった。午前中4班に分かれて林内整備（除伐、枝払い、もやかき）をノコを使って行うかわら、チェーンソー体験を希望する者には取扱方の手ほどき。

午後は植栽地において、下草刈り・つる切りをした後、新入社員によるイロハモミジ2本の記念植樹、名前を書き込んだ標柱を立てた。最後に成育の遅れている木々の周りに肥料をまいて全ての作業を終了。好天に恵まれ気持ちのよい1日であった。



除伐作業



チェーンソー体験



下草刈り



新入社員記念撮影

5月15日～16日 森林ボランティアリーダー養成と山村交流

「緑と水の森林基金」公募事業

奈良県森林ボランティア連絡協議会の主催により、曾爾村で5団体から20数名（内当クラブからは16名）が参加し実施。

15日昼前同村森林組合に集合。まず田合副組合長より材木市場についての説明を受けた。昼食後技術研修地に入り、同組合員の方々の指導を受けながら間伐研修。現場はつるがらみの木が多く、このため伐倒にかなりてこずったが、持参した棹鋸が切離しに大いに活躍した。間伐研修後、よく整備された屏風岩公苑、「獅子舞」が県無形文化財に指定されている門僕神社を見て宿舎の高原ホテル曾爾へ。

夕食は、岡田村長をはじめ地元の方々を交えて、地酒・地ビールで喉を潤しながら歓談。この間下北山村から参加されたツチノコ共和国野崎議長より夢のある取組みも披露され和気藹々の交流会となった。

16日朝、村長より同村の現状と人と人とのふれあいの村づくりを目指しての取組み等につき講演を頂き質疑応答。この後同村の名勝地である済浄坊の滝、曾爾高原を散策昼食後、味が自慢の高原産ほうれん草を購入し、新緑の山々に見送られて帰路についた。



技術研修を前に



間伐研修



村長講演



済浄坊の滝

5月26日（水） お手植え木保育

両陛下が、25年前の全国植樹祭の際、平城宮跡にお手植えされた2本の木の保育作業に当クラブ員7名が参加。来秋同地で開催される全国育樹祭に向けての準備の一環として、県全国育樹祭開催準備室からの要請があったもの。天野樹木医の指導のもと、場所がら慎重に作業を進める必要あり、奈良文化財研究所員立会いで、木のまわりに穴を20ヶ所づつ掘り、土・木炭・肥料を混ぜ合わせて埋め戻した。穴掘りに際しては、万一埋蔵物を傷つけることのないように、又切断した細い木の根は断面をきれいに切り揃え、傷ケアを施すなど注意しながらの作業となった。

5月29日（土）6月6日（日）里山林機能回復整備事業ー森林環境税対象ー3年目となる本事業、前年に引続き二上山々麓登山道沿いの民有里山の整備に、両日延べ20名弱が参加。多くのツルがからまる雑木の除伐、枯損木の処理、枝払い、もやかき、繁茂した背の高いササの刈取りを実施。結構きつい傾地にて暑い中、足をふんばっての作業。整備が進むにつれ、山道から見上げる



と木洩れ日が差込み、明るさを取戻し、木々が除々元気になっていくように感じられた。県で用意願った事業内容を紹介する看板を立てた。

5月30日（日） 平城宮跡特別保存地区整備

奈良阪町の天正天皇奈保山西陵近くの、荒れ放題の県有雑木林。10数名が参加し、沿道草刈り、灌木の除伐、枯損木の処理、もやかき等の作業を実施。

6月6日（日） 「むし祭り」 クラフト指導

橿原市昆虫館主催の「むし祭り」に、「森の学校」として中部農林振興事務所が、森林クイズと木工クラフトで参加され、当会員3名が指導にあたった。

子どもを中心とした来館者は、森林に関するパネルを活用したクイズを解いてから、木や竹の小枝・木の実や種子を使つての“むし”作りや“ジージーゼミ”作りに挑戦。今年は、“ガリガリトンボ”を加えたが、音の出るジージーゼミに人気が集まり、材料がなくなった3時過ぎからは“むし”作りだけとなり4時に終了。（“ジージーゼミ”は、いくつかの切込を入れた割箸の先に、中厚の紙で作ったプロペラをピンでさし、もう一本の割箸で溝をガリガリこするとプロペラが回り出す。）

6月29日（火） 森林環境教育 鼓阪北小学校

奈良阪町天正天皇奈保山西陵近くの平城宮跡特別保存地区（県有）内雑木林において、同校5年生と先生を含め40数名が参加。当クラブ員8名が指導にあたった。

上田代表の趣旨説明に続き、森林インストラクターでもある日月副代表より、生徒達が予め学校で県発行の副読本「森林とわたしたちの生活」で学習した復習を兼ねて、森の働きや手を入れた森林と手づかずの森林を比較しながらの説明に対し、次々と質問が寄せられ関心の高さを示していた。

続いて森林に入り、まず枯れた大きな松の木のチェーンソーを使った伐倒作業を見学後、ノコギリを代わる代わる使つての森林作業を5班に分かれ各指導員の指示の下、灌木の除伐、枝払い、玉切りを体験し予定を終了。



森林の話



伐倒作業見学



作業体験

6月30日（水） 斑鳩の里法隆寺古事の森

文化財等に指定されている神社仏閣などの木造建築物修理・修復に欠かせない大径長尺材供給のための木々を数百年かけて育成せんとする古事の森、全国で10箇所あり県内では、春日奥山についての斑鳩町野山国有林内に平成18年に植栽したヒノキ林の下草刈りを奈良森林管理事務所のご指導の下、当クラブ員9名で実施。前夜の雨の影響で猛烈に蒸し暑い中、玉の汗を流しながら下刈り器での筋刈りと手カマでの坪刈りを行った。場所により成育の度合いは異なるもの概ね順調に育っており、次ぎは数年後のヒモ打ち、除伐と手を入れていくこととなる。